



## 安全データシート

### 1. 製品および製造者情報

製品名:	水性染料インク FDY-LC
会社名:	ローランド ディー.ジー.株式会社 品質保証部
住所:	〒431-2103 静岡県浜松市北区新都田1-6-4
電話番号:	053-484-1224
FAX番号:	053-484-1226
整理番号:	RDG00305J

### 2. 危険有害性の要約

GHS分類:	
物理化学的危険性	
引火性液体	区分外
人健康有害性	
急性毒性(経口)	区分外
急性毒性(経皮)	区分外
急性毒性(吸入)	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分外
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分外
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性(単回曝露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復曝露)	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境有害性	
水生環境急性有害性	分類できない
水生環境慢性有害性	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない
GHSラベル要素	
絵表示	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし
注意書き	なし



### 3. 組成及び成分情報

単一化学物質・混合物の区分:混合物

化学名	CAS No.	含有量(wt%)	官報公示整理番号	備考
			化審法・安衛法	
色材(銅化合物)	—	< 1	—	*①
有機成分	—	< 1	—	*
グリセロール類	—	約 10	—	*
トリエチレングリコールモノブチルエーテル	143-22-6	約 10	(2)-436	—
ジエチレングリコール	111-46-6	約 15	(2)-415	—
トリエタノールアミン	102-71-6	< 1	(2)-308	①
水	7732-18-5	<80	対象外	—

①:労働安全衛生法の通知対象物に該当します。

(\*は当社の機密情報のため開示できません)

### 4. 応急措置

吸入した場合:	毛布等にくるんで安静にさせ、新鮮な空気のある場所に移動させてください。呼吸が困難な場合または呼吸が停止している場合には、直ちに人工呼吸を行い、医師の診察を受けてください。
皮膚に付着した場合:	多量の水と石鹼で洗ってください。炎症の徴候がある場合は、医師の診断を受けてください。
眼に入った場合:	直ちに、室温、低圧、清浄な水で15分以上、洗い流してください。眼の刺激が続くときには、医師の診断を受けてください。
飲み込んだ場合:	吐き出すと気管支に入って却って危険が増します。医師の診察を受けてください。
応急措置をする者の保護:	特になし
医師に対する特別注意事項:	なし

### 5. 火災時の措置

消火剤:	化学消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤:	特になし
特有の危険有害性:	引火性はありません。
特有の消火方法:	吸入器具以外の特別な方法を必要としません。爆発の危険性は無いと思われます。
消火を行う者の保護:	必要に応じて適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用してください。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項:	眼にインクが入らないように気をつけてください。手についたインクは水と石鹼でよく洗い流してください。
保護具及び緊急時措置:	必要に応じて適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用してください。
環境に対する注意事項:	下水に流さないでください。
封じ込め及び浄化の方法・機材:	スポンジなどを用いて液体を拭き取り、それを密閉容器に入れ、適切な方法で廃棄してください。作業の際には、換気をしてください。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策:	通常の手扱いは必要ありません。
局所排気・全体換気:	通常の手扱いは必要ありません。
注意事項:	眼や皮膚、衣服等に内容物が付かないようにしてください。また、内容物を飲まないようにしてください。
接触回避:	通常の手扱いは必要ありません。



**安全取扱い注意事項:** 子供が誤って内容物を飲まないように、子供を近づけないでください。また、内容物を飲まないでください。容器を分解しないでください。容器を強く振らないでください。強く振ったり振り回したりすると、内容物が漏れることがあります。作業場は換気を充分に行ってください。

#### 保管

**保管条件:** 容器は、換気良好な冷暗所に保管する。容器は酸化剤または爆発物とは一緒に保管しないでください。

**容器包装材料:** 適用外(本製品は、他の容器包装へ移し変えて保管することを意図されていません。)

### 8. 曝露防止及び保護措置

#### 許容濃度:

成分	安衛法 管理濃度	日本産業衛生 学会勧告値	ACGIH TLV	OSHA PEL
トリエタノールアミン	設定なし	設定なし	5mg/m <sup>3</sup>	設定なし
グリセロール(ミスト)	設定なし	設定なし	10mg/m <sup>3</sup>	15mg/m <sup>3</sup>

**設備対策:** 屋内作業所時は必要に応じて適切な換気(局所排気/全体排気)を行なってください。

#### 保護具

**呼吸器の保護具:** プリンタにカートリッジを装着して印刷を行う際には必要としません。ただし直接内容物を取扱う場合、必要に応じて呼吸用保護具を使用してください。

**手の保護具:** プリンタにカートリッジを装着して印刷を行う際には必要としません。ただし直接内容物を取扱う場合、必要に応じて保護手袋を使用してください。

**眼の保護具:** プリンタにカートリッジを装着して印刷を行う際には必要としません。ただし直接内容物を取扱う場合、必要に応じて保護眼鏡を使用してください。

**皮膚及び身体の保護具:** プリンタにカートリッジを装着して印刷を行う際には必要としません。ただし直接内容物を取扱う場合、必要に応じて保護衣を使用してください。

### 9. 物理的及び化学的性質

#### 外観

**物理的状态:** 液体

**色:** 青色

**臭い:** わずかな臭い

**pH:** 9.4±0.5 (20°C)

**融点・凝固点:** 有効データなし

**沸点、初留点及び沸騰範囲:** 有効データなし

**引火点:** 110°Cで引火しない(Closed cup ,ASTMD3278)

**爆発範囲:** なし

**蒸気圧:** 有効データなし

**蒸気密度:** 有効データなし

**比重(密度):** 約1.06 (20°C)

**溶解度(水):** ∞

**n-オクタノール/水分配係数:** 有効データなし

**自然発火温度:** 有効データなし

**分解温度:** 有効データなし

**燃焼性(固体・ガス):** なし

**粘度:** 5 mPa·s以下 (20°C)

**その他のデータ:** なし



## 10. 安定性及び反応性

安定性:	一般的な貯蔵・取り扱いにおいては安定です。
反応性:	常温では反応性はありません。
危険有害反応可能性:	有効データなし
避けるべき条件:	一般的な貯蔵・取り扱いにおいてはありません。
混触危険物質:	酸化剤、爆発物
危険有害な分解生成物:	常温では分解しません。

## 11. 有害性情報

### 急性毒性:

経口LD <sub>50</sub>	経皮LD <sub>50</sub>	吸入LC <sub>50</sub>
>5000mg/kg(ラット)	>2000mg/kg(ラット)	有効データなし

皮膚腐食性・刺激性:	刺激性なし(ラビット、OECD 404)
眼に対する重篤な損傷・刺激性:	軽度の刺激性(ラビット、OECD 405)
呼吸器又は皮膚感作性:	皮膚感作性なし(モルモット、OECD 406)
生殖細胞変異原性:	陰性(エームズ試験による)
発がん性:	IARC(国際がん研究機関)の発ガン物質(グループ1、2A、2B)に分類されている物質を処方構成成分として添加していません。
生殖毒性:	有効データなし
特定標的臓器毒性(単回曝露):	有効データなし
特定標的臓器毒性(反復曝露):	有効データなし
吸引性呼吸器有害性:	有効データなし

## 12. 環境影響情報

生態毒性:	有効データなし
残留性・分解性:	有効データなし
生体蓄積性:	有効データなし
土壌中の移動性:	有効データなし
オゾン層への有害性:	有効データなし

## 13. 廃棄上の注意

当該法規(国・都道府県および地方の法規・条例)に従って廃棄物処理をおこなってください。  
外部に委託する場合は、内容を明確にしたうえで、産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。

## 14. 輸送上の注意

国際規制:	該当しません。
国連番号:	該当しません。
品名(国連輸送名):	該当しません。
国連分類:	該当しません。
容器等級:	該当しません。
海洋汚染物質:	該当しません。
その他:	情報なし

## 15. 適用法令

消防法:	該当しません。
労働安全衛生法(第57条の2):	銅化合物を0.1%以上含有します。 トリエタノールアミンを0.1%以上含有します。
化学物質管理促進法:	該当しません。
毒物劇物取締法:	該当しません。



## 16. その他の情報

用途: インクジェットプリンタ用インク

注意: 弊社の指定した通常の下で、本品のふさわしい使用に対して、弊社の見解を表したものです。さらに、記載されているデータは、弊社の最善の知見に基づくものですが、情報の正確さおよび安全性を保障するものではありません。また、すべての化学品には、未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。特殊な取扱いには、この点ご配慮をお願いいたします。